

効果的な初年次教育の実行 におけるマネジメントモデル

第2分科会C班

入学時基礎学力の差

「ついていけない」「すでにわかっている」

学習意欲の低下

「やりたいことが見つからない」

目的意識の希薄化

初年次教育の問題点

(P)

- 学部間の統一
- カリキュラムポリシーとの連動
- 科目の内容の一貫性
- 休講・欠席フォローアップ
時間割配置

(P-D)

- 教職員の連携
- 教員の負担増

(C-A)

- 有効性の検証
- 入学時基礎学力の差

初年次教育の問題点

(P)

■

■

■

■

(P)

■

- 教員の負担増

入学時基礎学力の差

初年次教育の理想

個別に足りない能力を計り、
個々にあった初年次教育を行う

- スタディスキル
ノートテイク レポート作成
- 基礎能力
表現力 主体性 コミュニケーション能力
論理的思考
- 基礎学力

初年次教育の理想

入学前に個々の能力を測定し、
学ぶためのツールを用意する

自分発見！ツール

- チャートなどで学生が個々に足りない能力を自覚するツール
→可視化することによる問題点の把握
 - 伸ばしたい部分や足りない部分を勉強するためのe-learningツール
- 例)チャートをクリックするとそれに関連する科目一覧が起動する

教職員のかかわり

学生との信頼関係

- チャートで足りない部分に関するフォロー
- e-learningに対するフォロー



マネジメント

コンテンツ作成

(職員)

- 基礎能力を測るテストを作成
 - チャート作成(学生カルテ)
 - 可視化

(教員)

- 基礎項目と各科目のつながり
 - e-learningと対面指導

マネジメント

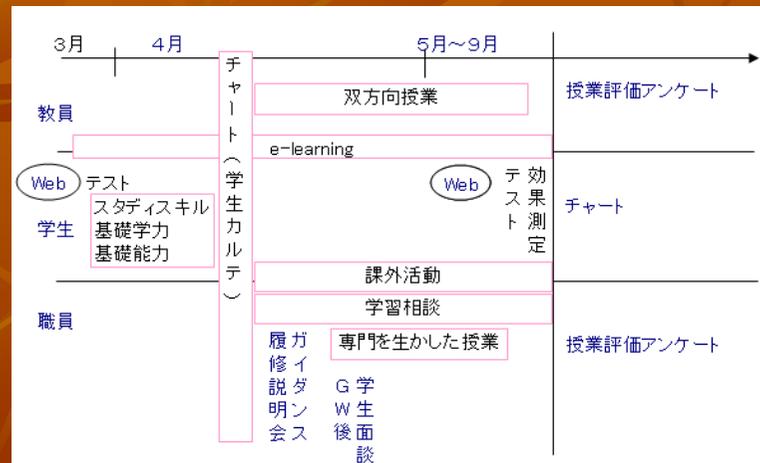
体制

学生カルテ→学習支援センター

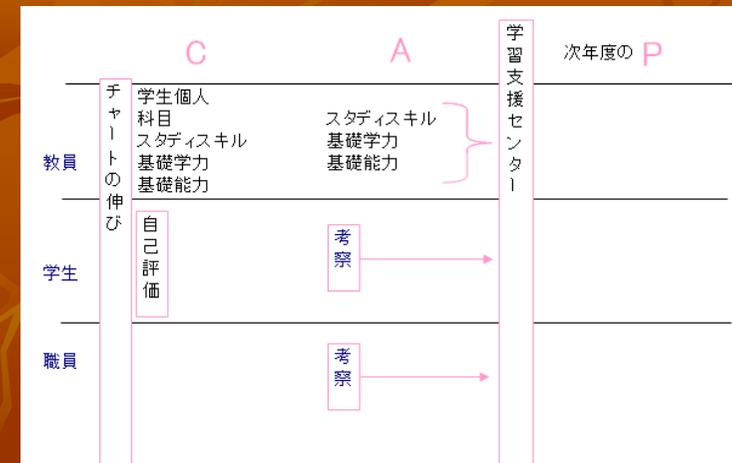
教員・各課からのアプローチ



学習支援センター



学習支援センター



骨太の初年次教育

e-learning
スタディスキル
基礎学力
基礎能力
課外活動